合判国語直し例

一　問二

曲がりなりにも・・十分ではないが、どうにかこうにか

意味のわからなかった語句は書き出しておくこと。

問四
傍線③「こみ上げるもの」とはどういう気持ちのことですか。五十字以内で答えなさい。

木崎の気持ち

自分の持てるだけの技術を投じてつくった軍用機で大勢の若いパイロットを死なせてしまったという情けなさ。

自分の答えの不足の部分は赤ペンで補うこと。

問六　傍線⑤「・・・」と、聡一が押し黙ったのはなぜですか。

ア　木崎は戦中の自分の行為を悔いており、それを軽々しく否定した聡一の言葉が怒りとともに拒絶されたから。 ×

イ　自分の過去を責める木崎の口調の鋭さに圧倒された上に、聡一にはそれを否定できる言葉が見つからなかったから。

ウ　自分が犯した過ちを告白する木崎の苦しみに触れて言葉もなく、また「重大な結果」の意味を早く話すよう促したかったから。 ×

自分の答＝ア　正しい答＝イ

問いの話題は聡一だから、聡一のようすを探す。→1-38行めに「木崎の声はふるえていて、聡一はおそろしいような気持ちになる」、また1-4行めに「なんとか否定しなければと思うが、ふさわしい言葉が出てこない。」とあるので、イ。

四　③　心血　心血　心血　心血　心血

漢字は五回ずつ練習する。

記述、抜き出し問題は問題コピー切り貼りする。「問いの条件」のチェック、印つけがポイント。

記号選択問題もコピー切り貼りする。誤答の消すポイントをはっきりさせる。

ただ「イ」とだけ書いても勉強にならない。文中から根拠を見つけ、書き出しておきましょう。